

## 「上半期を振り返り」

PTA会長 加藤 高史

令和7年度PTA会長を務めさせていただいております加藤高史と申します。どうぞ宜しくお願ひします。

保護者の皆様や校長先生をはじめ諸先生方には、南富良野高等学校のPTA活動にご理解とご協力を賜り、深く感謝申しあげます。また、PTA役員を引き受け下さった皆様にも心より感謝申し上げます。

さて、四月に二十四名の新入生が入学して生徒の数も益々増え、活気づいてきたのではないか。一年生は入学してから半年が過ぎ、大分学校生活にも慣れてきたことと思います。

部活動では、カヌー部のインターハイ出席など、各部活動の生徒たちが日々生懸命取り組み、その成果を大会で十分に発揮しています。

そして、七月四日、五日に開催されました一学期最大のイベントである南富良野高校学校祭！今年度も南富良野法人会様から協賛金をいただき、盛大な花火を打ち上げる事が出来ました。先生方やPTA会員の皆様、そして南富良野有志の会の皆様にはお忙しい中ご協力をいただき、誠にありがとうございました。学校と地域が一体となれる行事ですので今後も大切に継続していかなければと思います。



# 南富良野だより

PTA会報  
《第122号》  
R7. 10. 20  
北海道南富良野高等学校  
PTA事務局

## 「保護者と地域と一緒に歩む 学校を目指して」

校長 澤向 亮賢

日頃より保護者及び地域の皆様には、本校の教育活動に対し御理解、御協力をいただいていますことにこの場を借りてお礼申し上げます。

今年度は入学式において二十四名の新入生を迎え、全校生徒五十四名で令和7年度をスタートさせることができました。本校に入学していただけた生徒が、年々増加していることはとても喜ばしいこと

あります。南富良野町の地域体験学習に基づいた学校設定科目「アウトドア」が五年目を迎え、アクティビティを楽しんでおり、保護者の方々にも、友人、知人に南富良野高校の良さをPRしていただき、「南富良野高校に行きたい」と思われる学校を目指して行きたいと思

います。

今後は十一月にPTA研修会「カーリング」を予定しておりますので、皆様方の参加を心よりお待ちしております。

最後になりましたが、本校PTA活動により一層のご理解とご協力をお願い申しあげ、皆様とともに子どもたちの成長を支えていきたいと考

えます。

最後に、こういった特色ある教育活動

ができるのも本校は町立高校であり、南富良野町の地域の皆様方の御理解と御支援を日頃からいただき、保護者の皆様の

学校教育への御協力と御理解の賜である

と感謝しております。今後も本校教職員一同、保護者や地域の方とともに生徒を育てて参りますので、変わらぬ御支援を

お願いします。

最後になりますが、保護者及び地域の皆様には、引き続き本校の教育活動に対しまして、変わらぬご支援とご協力を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

このように本校において学ぶ素晴らしいところについて町内だけでなく町外、道内へ知られるようになるとともに、今年度南富良野町には学生寮（緑南寮）を設置していました。来年度四月にも新たに増設していただけることが決まり、下宿と併せて町内や富良野沿線外からの受け入れ人数が拡大することが可能になりました。札幌、旭川などをはじめとした遠方からの入学者数が増えてきております。そうしたことから本校は、引き続き南富良野町という地域を軸とした学びを継続し、高めながら地域と歩む教育活動を展開して参ります。

特に本校は、「地域連携」と「小中高連

携」に重点をおいた教育活動に努めております。「地域連携」では、湖水まつりや道の駅での感謝祭などの地域行事への部活動の参加、富良野警察署と連携した安全なまちづくりへの協力、地元企業のピアノコンサート、地域清掃活動などあらゆる場面を通して地域の方と高校生が関わる機会を増やしています。地域の中で高校生が育ち、高校生が地域に貢献していく関係を今後も目指して参ります。部活動においても力一杯やカーリングを中心に南富良野町の暖かいご声援を得て、様々な場面で南富良野町をアピールしていくと考えております。「小中高連携」では、小中高連携教育推進協議会における「学力向上講習」への参加、次世代育成プロジェクトにおける「旧北落合小学校」の校舎活用に取り組んで参りました。今後も町内における最高学府として連携を深めて参ります。

最後に、こういった特色ある教育活動ができるのも本校は町立高校であり、南富良野町の地域の皆様方の御理解と御支援を日頃からいただき、保護者の皆様の学校教育への御協力と御理解の賜であると感謝しております。今後も本校教職員一同、保護者や地域の方とともに生徒を育てて参りますので、変わらぬ御支援を



## 「学校祭りと馬鈴薯収穫」

西脇農園代表 西脇和幸

七月四日、五日に第五十九回南富良野高校学校祭が行われ、今年もバザーのお手伝いをさせていただきました。昨年から南富良野有志の会も参加し、PTAの皆様と一緒に多くの参加者で行うことができました。焼き鳥、焼きそば、鹿肉シンギスカン、かき氷と例年と同じメニューでしたが、昨年とほぼ同じメンバーのため、素早く仕事をすることができます。僕はいつも焼きそば担当で、暑い日差し、熱い鉄板と格闘しました。全員で一生懸命作つたので、生徒も喜んでくれたこと思います。今年で四年目の参加になりました。地域の先輩や仲間に誘われて少しでも地元の高校を盛り上げよう、生徒に楽しんでもらおうというのが始まりでした。ここ数年高校の生徒数が増えていて、生徒が南富良野高校に来てよかつたと思えるように、また協力できたらと考えています。

ようく選果されて流通していくのかを専門の職員の案内で種子馬鈴薯選果場を見学し、ポテトチップスの制作工程をシレラ工場で予定しています。毎年味付けがされているものと、されていないものの試食が盛り上がります。

私ができることは、農業体験や農業施設見学を通して地域の産業を理解し興味を持つてもらうことです。将来南富良野に住んでみたいと思ってくれる生徒が少しでも多く増えるように、これからも協力させていただきます。

卵がありました!! 蛇の卵がこの日で一番感動しました。無事に施設に着きダムの専門家らしき人にダムについての話を聞いてもらいました。なんと金山ダムは一九六七年昭和四十二年の十月に本格的に行われたそうで、そこから約一年で完成したとのことです、あんなに大きなダムを一年ほどで終わらせるという根性が本当にすごいなと思いました。ちなみに金山ダムは他のダムとは違います。それはダムの中です。他のダムは中がちょっとした空洞、もしくは空洞はなく全て埋まっている状態ですが、一方で金山ダムは中が大きな三角形の空洞であり、理由を聞くとコンクリートの量コストが減るために、最低限のコンクリートになる上うこのような設計にしたそうです。不思議ですね。

時間はあつという間に五時です。荷物を片付け終わると夕食を作りました、焼肉です。とても美味しく腹いっぱい食べました。食べ終わり近くの温泉に行きました。本当にいい湯でした。湯から上がり就寝となり、一日が終わりました。

七時に起床してラジオ体操をして朝食を食べました。そこから自由時間、片付けがあつという間に終わり昼に福樂のチヤーハンを食べました。元気いっぱいの状態でどんころ野外学校に行きました。防水の服に着替え、バスに乗りある川に行きました。救助活動です。二人でペアを作り二人のうち一人が川に流されてもう一人が縄を投げるという体験をしました、とても面白かったです。救助活動が終わり、無事野外宿泊研修が終わりました。とっても楽しかったです！来年の一年生に楽しんでもらいたいと思います。

## 野外宿泊研修

一年 平岡  
楓稀

僕が経験した野外宿にまとめてみました。

八月二十九日には二年生と芋拾い体験を行いました。今年は生徒十六名、校長先生含め教員三名が参加し四十分ほどの短い時間でしたが、皆が楽しみながら何度も収穫かごに集めていました。最後は拾つてくれたお礼に、一人ずつ収穫した芋を持たせます。生徒の喜ぶ顔がいいですね。終了後は今年から赴任された校長先生から、教師を何年も続けているがこのような農業体験は初めてだと、とても感謝されました。また来年もやらないと駄目ですね。十一月には、生徒が収穫した馬鈴薯がどの



# 令和七年度全国高等 学校総合体育大会

私はこの夏、島根県で行われたインターハイにWK-2（女子カヤックペア）で出場しました。準決勝敗退という結果でした。が、私にとって忘れられない経験になりました。

二年 村田 希野



全国の選手と同じ水面に並ぶ緊張感は、これまで経験したどんな大会とも違うものでした。「発艇一分前」の呼びかけと同時に、鼓動が高鳴ったことを今でも覚えていきます。いつも通りで、いようとすればするほど気がはやつて空回り、自分の未熟さを強く感じました。最後まで漕ぎ続け、ゴールした瞬間の達成感と悔しさは、夢に見るほど強く残っています。レースはたった数分、数十秒ですが、その一本に掛ける全国の選手の集中力や技術を間近に見て、自分に足りないもの、強みとなるものが分かりました。課題が明確になつたことは大きな収穫となりました。

日々支えてくださる家族や顧問の先生、町の支援だけでなく、インターハイを運営してくださったスタッフの方々がいて、ここまで来られたのだと強く感じました。たくさんの方への感謝を忘れず、練習を重ねていきます。

八月中旬旬インターインシップが行われ、私は南富フーズにて二日間の職業体験をさせていただきました。昨年の職場見学で南富フーズに伺った際に鹿肉の解体作業の見学をさせていただき、衛生管理や食肉として出荷されるまでの工程などをもつと知りたいと思い、今回の研修を希望しました。

南富フーズでは主に鹿肉の解体、販売を行っており、研修では解体から袋詰めまでの工程を体験させていただきました。解体作業では予め血抜きされた鹿を骨ごと電動ノコギリで真っ二つにし、部位ごとに丁寧に切り分けました。私も実際に電動ノコギ

## インターナシップ

# シツブで 学んだ事



場はゴールではなく、新たな挑戦の始まりだと思いました。この経験を胸に、次の国民スポーツ大会ではより成長した姿を見せられるよう頑張ります。



りを持たせていただきましたが、両手で支えて持つても振動と重さでなかなか真つ直ぐに切ることができませんでした。それに対し、従業員の方は片手だけで綺麗に切り分けており、その技術の高さを感じました。袋詰めの作業では、金属探知機を使って弾丸が残っていないか確認し、鹿の毛やゴミがついていないか一つ一つ目視で確認し、丁寧に梱包していきました。

普段はなかなか触ることのできない貴重な現場で「命をいただく」ということの重みと、食の安全を守る責任の大きさについて学ぶことができました。私は将来料理人を目指しており、この貴重な経験や学びを今後の夢へ活かしていきたいです。

をお願いいたします。  
※本応援団は組織化をしようとする  
ものではありません。また、会費等を徴  
収するものではありません。

**応 援 団 の 登 錄**

左記URLまたはQRコードを読み  
取り、登録フォームよりご登録くださ  
い。「登録いただいた個人情報等は、本  
応援団活動のみに使用致します。

URL : <https://x.gd/AD4w8>



OR  $\neg \vdash \vdash$

## 応援団の登録

左記URLまたはQRコードを読み取り、登録フォームより、「登録ください。」登録いただいた個人情報等は、本応援団活動のみに使用致します。

南富良野高等学校は、生徒の多様な学習ニーズに対応した教育活動を展開することによって、進学・就職・部活動など生徒の自己実現に寄与することができる学校づくりを進めていきます。  
是非、賛同してくださる皆様に学校の応援団となつていただき、本校の教育活動等を更に発展させていきたいと考えておりますので、応援団への登録をお願いいたします。  
※本応援団は組織化をしようとするものではありません。また、会費等を徴収するものではありません。

「南富良野高等学校応援団」を  
募集しています！